

## 市役所本庁舎の換気 CO2数値を公表、県内自治体で初 感染拡大防止の姿勢示す

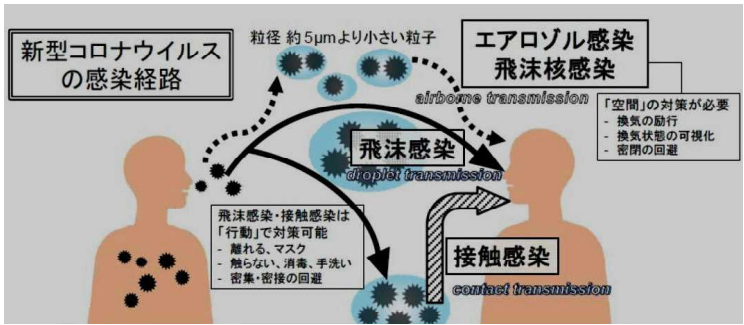
鶴岡市は19日、市役所本庁舎の換気について、二酸化炭素濃度の測定結果をHPで公表しました。

### エアロゾル感染

県内の自治体では初めてであり、感染拡大防止の姿勢を示しています。

ビル管理法の規定により、2カ月に一度測定器による濃度測定を行っており、今回初めて市のHPに測定場所と測定時刻、二酸化炭素濃度の結果を掲載しました。

新型コロナウイルスの感染経路は、接触感染と飛沫感染、そして空気感染（エアロゾル）といわれ、ウイルスが付着した粒子が空气中に滞留しないようにするため、換気が必要とされています（下図）。



図：慶應義塾大学「感染症対策としてのCO2濃度の利用方法を提言」HPから

換気状態は五感で判断できるものではなく、CO2測定器などによる数値で確認することが大切です。

加藤鉦一議員が6月議会一般質問で取り上げ

測定数値では、基準値の1000ppm以下ですが、3階より上の階ではいずれも800ppmを超え、換気の頻度や換気時間を上げる必要があります。

Tsuruoka City 鶴岡市

▶音声読み上げ・文字拡大 ▶検索について multilingual

▶English ▶簡体中文 ▶繁体中文 ▶Korean

暮らし 健康・福祉・医療 子育て・教育 安全・安心 文化・スポーツ 都市整備・環境

現在のページ トップページ > 市政情報 > 市役所 > 施設案内 > 市役所本庁舎における換気について

### 市役所本庁舎における換気について

更新日：2021年8月19日

市役所本庁舎では、開庁時は機械換気を常時行っております。加えて、事務室の窓を2時間に一度開放するよう職員に庁内放送で呼びかけております。

また、庁舎の二酸化炭素濃度につきましては、2ヶ月に一度、測定器による濃度測定を行っております。

※この測定において、二酸化炭素濃度はいずれも基準値の1000ppm以下となっていることを確認しています。

【令和3年7月28日測定時】

測定場所	測定時刻	二酸化炭素 (ppm)
6階情報企画課	10:00~14:44	847
5階北側	10:03~14:46	858
4階北側	10:06~14:49	863
3階市長ロビー	10:08~14:51	648
3階南側	10:10~14:53	846
2階南側	10:13~14:58	770
1階ロビー	10:15~15:01	686
1階福祉課	10:17~15:03	625
地下1階売店	10:19~15:04	660
1階玄関前（外気）	9:57	396

このように積極的な換気を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めております。

## 藤沢周平を読む③

鈴木重雄（八色木）



周平（小菅勇治）は、鶴岡市高坂（旧黄金村）の自作8反歩と小作5反歩の計1町3反歩を耕作する、村では中農位の農家の3男3女の4番目に生まれた。

藤沢周平、鶴岡中学夜間部3年（1946年1月）

昭和19年3月、尋常高等小学校から国民高等小学校に変わった第1回目の卒業である。卒業すると4月から鶴岡印刷で働きながら鶴岡中学校に入学した。冬歩いて帰るのは無理なので中村家に泊まった。

中村家では親戚の子どもを扱うようにしていたので、そのまま鶴岡印刷で働き、会社の後継者として骨を埋めるといふ人生コースであったと思う。だがそうはならなかった。

中村作右衛門は倉庫業のかたわら鶴岡印刷会社を創立した。鶴岡ガスの社長（戦後、鶴岡商工会議所初代会頭山形県議会議員、鶴岡市消防団長を務める多忙な人であった）。

1年で退職して、黄金村役場の職員になった。もちろん本人の希望ではなく役場職員に欠員が生まれたので、役場の助役がその手続きをしたのであった。

周平が日曜日などに帰らない日は、中村は自分の部屋に呼んで座禅や精神訓話をした。木剣を振るわせて剣道の指導もした。

中村にしてみれば、そう簡単に承服できなかったようであるが、助役の高山正雄は30を過ぎたばかりの青年助役で、中村の鶴中時代の後輩であり、中村には十分礼を尽くして対応したと思うが、高山は人後に落ちない強情人間であったから、怒られても容易に引き下がらなかつたことは想像に難くない。

中村は周平を幹部社員にして、将来自分の後を継がせようとも考えていたようだった。夕飯を食べてから学校に通った。授業を終え9時半か10時頃、中村家に帰ると、中村夫人か3女の正子さんが、「寒かったら、炬燵で暖まってから寝れば」と言い、学校のことなどあれこれ質問するのだった。

最後にあきらめた中村は、「事情がわかったからやむを得ないが、役場の人たちは呑み助ぞろいで、酔っ払うと（遊郭のある）双葉町に繰り出すと聞いている。あれ（周平）どこへは連れて行くなよ」と言った。

学校の成績が良かったからと、精工舎の腕時計を買ってもらったこともある。

中村は役場職員の品位を疑っていたようだ。

### 山中看百合花

山中に百合花を見る

城貞（藤の花）

探花遂暑下谿時  
何処幽香百合姿  
杉径山行忘路脈  
先儂己有野人知

花を探に暑を遂い谿を下る時  
何れの処にか幽香 百合の姿  
杉径 山行して路脈を忘れる  
儂に先んじて己に野人の知る有り

花(ゆり)を探しに 暑さを追い払って 谷を下りていたときに

いずれの所からか 奥ゆかしいユリの香りがしてきた。

ユリはどこにあるのだろうか。

杉の植えてある 山道を歩いてきたが(何十年も来なかったので)

路に迷ってしまい うろろろしていたら 私よりも早くに もう

何処の人なのか(近所の人か) ユリの花を探りあてて来ていた。

(ゆりの球根を取りに来たのだろうか。)

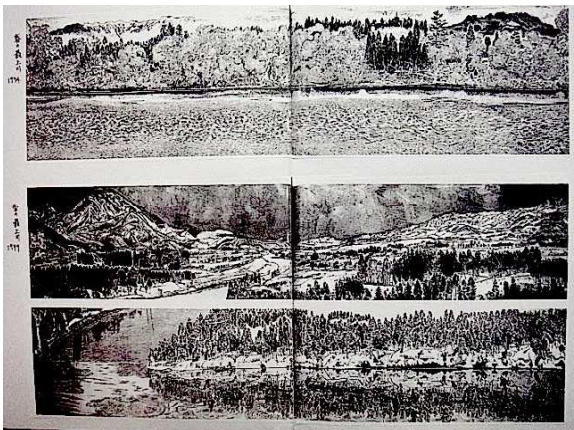


百合花 百合の花。探さがし求める。遂追ひ払う。谿水のない谷。何処どこに。幽香 奥ゆかしい香り。百合ユリ。杉径 杉の植えてある山の小道。山行 山歩き。忘 おぼえがなくなる。路脈 道筋。先 さきだつて。儂 吾。己 とつくに。もう。野人 在野人。田舎の人。

# ひと

## 小松均 ②

### 青山崇



1968年(昭和43)山形で個展を開き50年ぶりに故郷に帰った。

最上川の景観を見て、「吾、一生の仕事をなさんとするなり」と最上川と真正面から向き合う決心をし、最上川連作を思い立ち、翌年から院展に出品し続けた。

シリーズ中の「春の最上川」が昭和49年度芸術選奨文部大臣賞を受賞、1979年(昭和54)第64回院展で「雪の最上川」が内閣総理大臣賞を受賞した。1977年(昭和52)

からは富士山連作をも始めるなど精力的に活動し、1986年(昭和61、84歳)に文化功労者となった。

また、東京を初め仙台、神戸、新潟など全国で展覧会を開いた。さて代表作「雪の最上川」(二曲二双屏風：4つ折目：縦1・84m・横9・64m：京都国立近代美術館蔵)である。

最上川は大石田町で東流から北流にかえ、町の北端でこれまで北流して来た最上川が、徐々に庄内へと西流に変わる。この変化に富む流域に大石田町がある。

大石田は芭蕉が泊まり「さみだれを集めてすずし最上川」の発句で歌仙を巻き、斎藤茂

吉は2年近く疎開し、「最上川逆白波の立つまでに吹雪く夕べとなりにけるかも」の名作を残し、「まことに好いところ」「なつかしいところ」と書いているが、歴史的文化的風土があるようである。

小松は1971年(昭和46)、早々に描きはじめ、6年の歳月をかけた渾身の大作である。信念である「現場主義」を貫き、「わしは見ながらしか描かぬ。あとで、画室で写すと線が死んでしまふ」と語る。

大石田の最上川岸にビル風の風除け(写真)をつくり、そこで九分通りまで描きこむ。あの「逆白波」がたっているので、風があたり寒かったらうと思つ。世話したのは、疎開の茂吉を世話した板垣家子夫の友人らであった。

私は、展覧会で『雪の最上川』を観た時、大地の呼吸、大地の輝き・躍動に圧倒され身動きできなかつたことを記憶している。 ※「最上川」は大石田町付近の部分である。



### 選手村を病院に

さいたさいた・がチユウリップの歌ならいいんだが、こちらのさいたはこの最多なのだ。コロナは我が鶴岡も心配だが、全国で連日のように最多の更新じゃないですか。

▲感染者数が減らないのは、菅首相はコロナの形・デルタ型の感染力と人流のセイにして、自分らの対応が悪かつたとは認めていないんだが、明らかに政治のセイでしようや。入院する処が無くて、生まれるつこが命を無くしているんだぜ。国はどんな責任を取るんだ？

▲だいたい、コロナを克服した証として五輪はやるんだ・と国民に約束したものを、緊急事態宣言を出しながらの強行だ。それでいて子どもらの運動会はやれないんだ。なぜ運動会はダメなのか・先生

方説明「デキメ」。一方人流は減らせ・と国民には言いながら、外国から選手らは入ってきたんだ。矛盾だらけ。

▲専門家の意見と国民の反対の声を聴かないで五輪を強行した結果が、今の状態でしょう。正に政治の責任ですよ。コロナの感染力を認めながら、隔離する病院が無いんだ。結果・伝染病を自宅療養ナンだとき。感染者が減らないのは当たり前だ。

▲病床が不足だから野戦病院を作れば・との声があるがサ、金と時間がかかるから、ここはパラ五輪を辞めて、選手村を専門病院にし、コロナ対策に全力を集中することだぜ。

▲首相はバツハからナンボ貰ったろ?とは巷の話だが、第5波だと言いながら、地域指定を広げるだけで新しいこうすれば・が無いんだ。飲み屋さんは呆れているぜ。(石川)